

## スロベニア海外安全対策情報 (2024年1月～3月)

### 1 治安情勢

治安情勢は比較的安定していますが、スロベニア警察による犯罪統計では、2023年の犯罪発生件数は54,115件で、前年(2022年)の49,745件から約4,300件増加しており、犯罪の発生件数は新型コロナウイルス感染症の流行以前の件数と同程度に戻っています。また、2023年中、リュブリャナ中心部を観光中の邦人がスリ、置き引きの被害に遭った事件が数件発生しています。多くの人が集まる場所(観光地、イベント会場等)では、置き引きやスリの被害に遭う可能性が高くなりますので、貴重品から目を離さないよう十分注意してください。

### 2 邦人被害発生状況

なし

### 3 邦人以外の被害事案

#### (1) 強盗事件

1月8日(金)午後6時30分頃、リュブリャナのヴィッチ地区で二人組の男が男性に近寄り、携帯電話と財布を強引に奪って逃走した。この事件で被害者の男性は負傷した。

2月21日(水)の午後、マリボルのトゥルジャシュカ通り付近で3人の男が被害者の男性に近づき、現金を要求した。男性がこれを拒否すると、犯人らは刃物で男性を脅し、財布を奪った上、男性を殴って現場から立ち去った。

2月24日(土)の午後7時半頃、リュブリャナ中心部チリル・メトドフ広場にある商店に男が侵入し、刃物を使って女性従業員を脅した後、レジから紙幣数枚を奪い、徒歩で逃走した。従業員の1人が軽傷を負った。

3月9日(土)の午後8時頃、リュブリャナのモステ地区にある店舗に男2名が侵入し、従業員を拳銃で脅迫して現金を要求した。男らは店内にいた従業員と3人の客を地面に叩き伏せ、両手を縛って所持品を奪い、さらにレジから数枚の紙幣を奪って逃走した。

3月20日(水)午前0時過ぎ、ノヴァ・ゴリツアのヴォイコヴァ通り沿いを市の中心部にあるカジノに向かって女性が歩いていたところ、男1名が女性に近づいて財布を要求した。その際、自転車に乗った別の男が背後から女性に近づき、左肩からバッグを奪って逃走した。

3月28日(木)、警察は、イゾラ近郊のシャレド地区にある住宅で強盗事件が発生したとの通報を受理した。強盗犯は少なくとも2名で、多額の現金及びその他数点が奪われ、被害者が負傷した。

#### (2) 窃盗事件

3月8日(金)の午前3時頃、トルミン中心部の銀行施設に何者かが侵入し、ATMから多額の現金が盗まれた。

3月26日(火)の朝、リュブリャナ郊外のザログで3人組が高齢者宅を襲う窃盗事件が発生した。1人目の犯人が電気通信網の工事を計画していると話して被害者の注意を引いている間、仲間の2人が屋内に侵入し、数千ユーロ相当の宝石類を盗んだ。

#### (3) 詐欺事件

2月16日(金)、セジャナに住む78歳の男性が詐欺被害に遭い14万ユーロを失った。見知らぬ男から電話があり、彼の仮想通貨ウォレットに17,000ユーロが入っていると告げられ、それを送金するためには銀行口座の詳細が必要だと言われた。被害者はこの話を信じ、犯人に銀行口座の詳細と暗証番号を教えてしまったため、犯人から口座の現金を引き出された。

#### (4) 暴行・傷害事件

1月8日(金)深夜、リュブリャナのモステ地区で2人の男が喧嘩をし、うち1人が銃器を使用して2人とも負傷した。一人は軽傷、もう一人は重傷を負ったが命に別状はない。軽傷の容疑者は逮捕され、重傷の容疑者は治療を受けている。

2月5日(月)朝、リュブリャナ市内のバスで女性が知人に刺された。女性は治療のためUKCリュブリャナに搬送され、加害者の男は逮捕された。

2月18日(日)、ムルスカ・ソボタで行われた対ムラ戦の試合中、マリボルのサポーターが爆発させたスタングレネードの爆発により、ホームチームの選手5名とコーチ1名が負傷した。

#### (5) 凶器を使用した脅迫事件

3月13日(水)午後3時頃、リュブリャナ中心部バヴァルスキ・ドヴォルの大通り沿いにある人通りの多いバス停付近で、両手にナイフを持った男が通行人を脅しているとの通報が警察にあった。現場に到着した警察官が男を取り囲んで交渉を開始したが男はこれに応じず、約1時間後に制圧された。

#### 4 テロ・爆弾事件発生状況

テロ・爆弾事件は認知していません。

#### 5 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害の事件は認知していません。

#### 6 日本企業の安全に係る諸問題

特段の問題は認知していません。

(了)